



霧が丘

令和5年2月24日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 関口 和弘

「霧が丘」で心豊かに育つ子どもたち

准校長 岡崎 恵子

校庭の白梅が、甘い香りを漂わせ美しく咲いています。寒さの中にも春の足音を感じます。今年度も残すところ約一か月となりました。9年生は3月8日の卒業式に向けて、6年生は3月17日の修了証書授与式に向けて、文集や下級生へのメッセージづくりなど様々な取組をしています。また、各学年では、どの子も自分の成長を確かめながら、学習面・生活面のまとめや振り返りを行っています。振り返りのなかでは、地域の方々との活動で学んだこと、感謝する言葉が数多く聞かれます。子どもたちは地域の方々とのつながりのなかで、心豊かに育っています。

※令和5年1月以降、地域の方々との活動の様子をいくつか紹介します。

遊楽舎のみなさんと～凧づくり～

小中の個別支援級の生徒児童が遊楽舎のみなさんに教わりながら凧を作りました。左右のバランスをとることに苦戦しながらも粘り強く完成させました。好きな絵を描いた自分の凧が飛ぶ様子に大満足でした。



社会福祉協議会のみなさんと～昔遊び～

1年生の生活科や4年生の総合的な学習の時間に昔遊びをしました。社会福祉協議会のみなさんがけん玉やお手玉などのコツを教えてください、子どもたちはみるみる上達し、目を輝かせていました。



おはなしポケットのみなさんと～本の世界へ～

小学部で読み聞かせをしてくださっています。手作りの大型絵本や登場人物が飛び出す絵本のときには、子どもたちが一層本の世界に引き込まれます。低学年は、ページがめくられる度に「わあ」と声を上げたり、「面白いね」「いいな」など感じたことをつぶやいたりしています。



霧が丘連合自治会のみなさんと～富士山レーダードーム・神奈川県総合防災センター見学～

2月18日、霧が丘連合自治会主催の富士山レーダードーム館・神奈川県総合防災センター見学に5・6年生の希望者が行ってきました。レーダードーム建設に従事した人々の強い思いや「あきらめない心」を知り、自分自身を見つめる姿がありました。防災センターでは震度7の揺れ、風速20m/秒、消火などの体験をとおして防災への意識を高めました。



子どもたちは地域の方々に支えていただきながら、心を動かされる経験を積み重ねています。これからも地域の方々とのつながりを大切にして、心豊かに育ってほしいと思います。

・各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。
<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>

QRコード

